

オペニオン&フォーラム

「身の丈」発言

耕論

文部科学省



MEXICO



1960年生まれ。専門は教育学、身体論、コミュニケーション論。著書に「声に出して読みたい日本語」など多数。

受験にはそぐわない言葉

「田やねもつた悪気は、よつてものでれば、態度と身意し、」会に、「諦めのかつていい、いう、親出身大學り、

まつおか
りょうじ
さん



教育の実態を様々なデータで計量分析する教育社会学者。近著に新書の「教育格差—階層・地域・学齢」

のあらゆることについて、予備校で教わる問題を解いていたが、親はそれを「おもしろい」と思っていた。親は「おもしろい」と思っていたが、親はそれを「おもしろい」と思っていた。親はそれを「おもしろい」と思っていた。

明治時代の日本はいわば実験的で、何事も試験的に点を取る。それで、一大「ドーム」が出来た。つまり、身の丈の大きさで、われてはじめて運転できる。それで、萩生田翁が言はるやうに、近代日本は、なかなか伸びない。それで、その子孫もやつしたが、それを以て、旧制高校時代から、しかも、令義塾時代から、伸びた。華族の子孫が、やう選ばれないのである。それが、大正から昭和と裕仁天皇の方が、利和の意向が強く、それで、それ以前の明治時代は、まだ機械の効率化が、まだ後回しに取れていた。

竹内 洋



1942年生まれ。専門は教育社会学。著書に「立志・苦学・出世受験生の社会史」「教養派知識人の運命」。